

会議・行事の記録

教育長	課長	課長補佐	係長	合議	提案
合議先（企画振興課・熊石教育事務所）		決裁年月日	平成29年7月31日（月）		
		会議名称	平成29年度 第1回八雲町文化財保護審議会		
		会議日時	平成29年6月26日（月）13時30分～14時30分		
		会議場所	公民館 第1会議室	起案者	主事 大谷茂之
<p>◆出席者：○文化財保護審議会委員：井上会長・長坂副会長・幸村委員・長水委員・庄内委員・三浦委員。 ○教育委員会：田中教育長・足立社会教育課長・柴田文化財係長・大谷文化財係。 ○傍聴者：なし。</p>					
<p>1. 開会 2. 挨拶 田中教育長 井上会長 4. 議題 (1) 議案第1号 平成29年度文化関係事業の計画及び予算について 事務局より提案し、質疑あり。 委員：以前は、文化財保護審議会は年3回開催し、1回は町外研修に充てて、町外の文化財や施設の見学を行っていた。他市町の文化財等を知ることは大変重要なことであるので、予算獲得の努力をお願いしたい。 事務局：次年度の予算計上を検討したい。 委員：史料より見る歴史講座（旧古文書講座）は、休日の夜間に実施することを検討していたのではないか。 事務局：昨年、社会教育委員会議で、平日夜間の開催を検討してみてもという意見が出され、3月13日（月）の夜間に実施したところ、26名の参加者があり新たな参加者の掘り起こしが行われた。今年度は、土日の日中に開催する。 委員：主要事業の梅村庭園事業は、文化財庭園として整備するのであれば、石積みを実測するとか、基礎を確認するとか、造園当時の様な状態にあったかを確認しながら整備した方が良いのではないか。 事務局：文化財庭園の整備に関しては、文化財指定当時の状態に戻すというのが原則ですが、指定以前の状態がわかる資料があれば、造園当時の状態に戻すのが理想と考えられる。梅村庭園に関しては梅村多十郎の自叙伝や野中松太郎の書物などに昔の梅村庭園の写</p>					

真があることから、それらを参考に整備を行っていききたい。

(2) 協議第1号 次期町指定文化財候補の選出について

事務局より、平成27年の第2回審議会で出された町指定文化財候補について、検討資料を基に説明を行い、委員からの意見を受ける。

委員：丸木舟①は、鉛川の開拓者が使用したもの。丸木舟②は、ユウラップアイヌのものと考えられる。丸木舟③の樹種は松とあるが、かつらの可能性もある。表面にペンキが塗られており、以前除去を試みたが、木質部に染みこんでいて除去をあきらめた経緯がある。今では新たな処理方法が考案されている可能性もある。

委員：板倉の記述に関して、開拓当時に建てられた板倉と、八雲産業株式会社八雲事業所用地内にある板倉（開拓倉庫）が同じもののように記述されていて誤解を招くので、違うものであることを明確に記述した方が良いのではないかと。

事務局：訂正します。

委員：鉾山墓地に関しては草刈りをして調査を行う必要があるのではないかと。

泊川から、八雲にぬける道路があったのではないかと。

昭和55年に熊石文化財調査委員等で、泊川から遊楽部鉾山に通じる金山道の調査を途中までおこなったことがある。

泊川の話では、鉛がどこかに隠されており、イカ釣りのトンボの錘に使われたという話もある。

松浦武四郎の「廻浦日記」にユウラップへの越道が昔あったという記述があり、江差の商人によって泊川から鉾山に物資が運ばれたとも言われている。

鉾山墓地の墓碑に書かれている戒名は曹洞宗の戒名と考えられ、秋田が飢饉の時、蝦夷地に渡ってきたとも考えられる。

事務局：鉾山墓地に関しては文献史料を整理するとともに、現地調査を行うなど、情報収集に努めていきたい。

委員：薄荷蒸留釜に関しては、当時の薄荷の結晶が八雲産業の板倉にまだ残っている可能性があるため、一度調査した方がよい。

事務局：八雲産業の八雲事業所所長に確認する。

事務局：その他次期町指定文化財として候補にあげるものがないかと。

委員：黒岩の松本さんの小屋が明治初期のものであったと思う。馬追業を営んでいて、中津原商店に何か資料が残っている可能性がある。

事務局：熊石地域では、町指定文化財候補にあげるものはないかと。

委員：熊石歴史館を建設する際に、色々な方から資料を頂いて、一部未整理のまま収蔵庫に納められている。その中に貴重な文化財がある可能性もあるので一度調査してみてはどうか。

事務局：熊石教育事務所長に連絡を取り、都合の良い時期に調査をおこないたい。

(3) 報告第1号 平成28年度文化財関係事業(下半期)の実施報告及び決算について

事務局より報告、質疑なし。

(4) 報告第2号 郷土資料の寄贈状況について

事務局より報告、質疑なし。

(5) その他

平成28年度の郷土資料館・木彫り熊資料館と梅村庭園の利用状況について、別紙資料を基に報告する。